

## 資料D-11-3

応用物理学会「女子会」報告

男女共同参画委員会  
委員長 根本香絵  
女子会担当 齊藤公彦

開催日時：2015年9月16日（水）12:00～14:00

開催場所：名古屋国際会議場 1F 会場

第76回応用物理学会秋季学術講演会期間中に、男女共同参画委員会活動の一環として、これまでと同様に軽食の立食形式で「女子会」を開催致しました。本会合は2013年の秋季学術講演会を最初に、女性研究者を中心とした交流の場として学術講演会開催中に実施してきているもので、今回で6回目になります。今回は、特別シンポジウムが無かったため単独開催となりましたが、事前のHPや女子会メーリングリストでの開催案内、当日会場付近での直接の案内により、委員を含め二十数名の方に御参加頂きました。この中には、初めての参加という企業の女性研究者や、男子学生や留学生といった参加もあり、人数の割には非常に多岐に渡った方々による交流が出来たのではないかと考えております。

また、今回の女子会では、冒頭より河田会長に御出席頂き、途中から益副会長にも御参加頂きました。特に河田会長からは、今後の応用物理学会の発展に対してダイバーシティが重要であり、その中の一つとして、現場で活躍する女性研究者を中心とした交流と繋がりが持てる仕組みを組織し、それが主体的に活動できる場を構築することが大事である旨のお話を頂戴いたしました。

今会合では、これまでの男女共同参画の状況に関する情報交換等を行うだけではなく、この「女子会」の名称変更や今後の新たなネットワークづくりについての議論も設けさせて頂きました。これは、本会の意図が男女共同参画を推進するためのネットワークづくりおよび情報交換の場として提供されているにもかかわらず、「女子会」という名前のために男女共同参画に関心のある男性の方々の参加を阻害しているのではないかと懸念から、新名称に変更しようといった方針が示されたことによります。事前に募った8個の新名称案と当日その場で提案された2案の計10案で議論を行い、「男女共同参画の交流活動を直接的に表現している」という観点で最も票を集めた“NEWMAP”（NEtwork for Women and Men in Applied Physics）が、「女子会」に替わる新名称として採択されました。また新たなネットワークづくりに関しては、まだ企画段階ではあるものの、SNSを活用する案を簡単に御紹介させて頂きました。

前回学術講演会での女子会のレビューにあった「ライフ・アンド・ワークバランスに高い意識をもつ会員が性別に関係なくネットワーク作りを行える場の提供を目指す」といった方向、および、それが主体的に活動できる場として機能させることに向け、今回の女子会で一歩踏み出すことができたと思います。今後は、装い新たに“NEWMAP”として、各世代、各分野ごと多岐に渡る男女共同参画の課題に効率的に取り組める会員ネットワークを提供していきたいと考えております。



女子会の様子